

パブリックコメントの結果について公表します

○意見募集の概要

- ・案件名 高山市人口ビジョン(素案)及び高山市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)
- ・募集期間 平成27年9月15日(火)～平成27年9月28日(月)(14日間)

○集計結果

- ・意見提出人数 7人
- ・意見数 13件

No.	意見		検討結果及びその理由
1	高地トレーニングエリアの整備・活用について	・高地トレーニングエリアの整備・活用具体的な取り組みがわからない。地域の現状把握と長期的な展望(地域づくり)が何も伝わってこない。	・「高地トレーニングエリアの整備・活用」の中に、可能な範囲で具体的な内容を追加記載します。
2	道の駅等拠点施設の活用について	・道の駅等拠点施設の活用について、このことは地域創生のキーになると思う。市の援助もいただきながら運営されている道の駅を、地域活性化の拠点とすべき。診療所、郵便局、農協、社会福祉等の機関を統括した複合施設としての利用を検討すべき。	・道の駅は、地域経済の活性化や地域交流の促進に重要な施設であり、そのような観点での機能強化は推進します。診療所、農協、福祉施設の統合については、現時点では具体的にはございません。
3	観光について	・高山の観光のメインは日本の文化遺産。心や精神を強調した観光地であってほしい。	・「基本目標の考え方」の中で、本市の特徴としておもてなしの心、人情味などを掲げており、その特徴を活かした取り組みを進めることとしています。
4	飛騨の匠博物館について	・飛騨市と連携し、飛騨の匠の博物館の様なものを作っては如何か。お金がなければ既存の建物を利用し、飛騨の匠の方にも協力をお願いし、もう一つの観光メインとして博物館の様なものを作っては如何か。	・近隣自治体との広域連携による飛騨の匠の博物館の設置については、多額の費用が想定されるとともに、その有効性や妥当性等についての検討が必要であることから、現時点では具体的にはございません。
5	高山の「おもてなし」の心について	・高山の人は、祭り等により、人と協調して作り上げる文化があり、人の事を思いやる所がある。人は、魅力ある町に自然に集まってくる。人口減少問題も心配しなくていいということになる。	・「基本目標の考え方」の中で、本市の特徴としておもてなしの心、人情味などを掲げており、その特徴を活かした取り組みを進めることとしています。

No.	意見		検討結果及びその理由
6	道の駅について	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅の設備・機能の充実が必要である。高齢者や障がい者の方々にも利用しやすい多機能トイレの整備 Wi-Fi環境による利用者が自ら情報を得られる環境整備 災害時の防災施設としての機能（災害時の備蓄品倉庫・停電の際の非常用電源（発電機等）の設備の整備） 外国人利用客の移動範囲を拡大させるための施設案内の多言語表記 	<ul style="list-style-type: none"> ・「道の駅等拠点施設の活用」の中に、可能な範囲で具体的な機能を追加記載します。
7	胡桃島キャンプ場(コテージ)について	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビを見る環境やインターネットの環境がなく、合宿に不便さを感じる。また、携帯電話の電波状況があまりよくない等、通信環境整備が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通信環境について、胡桃島キャンプ場の具体的な記載はしていませんが、「高地トレーニングエリアの整備・活用」の中に、さまざまな競技種目に対応できる施設・設備の整備について記載しており、具体的な施設は、今後検討することとしています。
8	観光について	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源を点として捉えるのではなく、線や面で捉えることで、そこまでの移動ルート周辺にもたらされる経済効果や新たなビジネス、雇用創出の可能性が生まれる。総合戦略として考えるなら、観光一本で、目的と手段を突き詰める事でメリット・デメリットを算出、そして効果試算まで実施して、その結果を市民に広報して欲しい。 	<p><観光ルートについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「国内誘客の推進」の中に、「広域観光ルートの造成」を記載し、その取り組みを推進することとしています。 <p><本市の産業・経済について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な産業がある中、観光産業一つを伸ばしていけばよいとは考えていません。これら地元産業を総合的に引き上げる主要な産業の一つとして、観光関連産業の取り組みの強化を図っていくこととしています。
9	企業誘致の促進について	<ul style="list-style-type: none"> ・今高山市に求められている重要な課題は、若年人口の増加対策であり、これを実現するための方策として、地場産業の振興策は勿論の事、如何に将来性ある魅力ある優良企業を高山に誘致する。このことが、高山市総合戦略における、当面の重要課題ではないだろうか。こうした優良企業の誘致に当っては、業種の選定は勿論、あらゆる手段方法を講ずることが肝要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「企業等誘致活動の推進、企業等立地環境の整備」の中で、「雇用と財源の確保につながる企業等の誘致」を記載しており、今後も推進することとしています。

No.	意見		検討結果及びその理由
10	移住促進について	<ul style="list-style-type: none"> ・移住促進をして定住支援をしないのは無責任である。移住をしてきてから、生活が落ち着くまでは継続的なモニタリングや交流事業が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「移住者受入体制の強化」を掲げています。ご意見にある移住された者への継続的なモニタリングや交流等については、必要なことと考えており、今後、推進に際しての検討とします。
11	支え合えるコミュニティについて	<ul style="list-style-type: none"> ・支え合えるコミュニティとして、「協働のまちづくり」の取り組みだけでは不十分である。1人暮らし世帯(特に介護保険など支援が受けられない世帯)に対して、病中時などの一時的な生活支援が必要である。特に乳幼児を持つ母子・父子家庭世帯においては、本人だけでなく「子供の健全保育」からの観点から考えると、その必要性は明確である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児を持つ母子・父子家庭世帯への支援について、具体的な施策を記載していませんが、目指すべき将来の方向の方向性1「人口減少に歯止めをかける」の中で子育てしやすい環境づくりを記載しています。また、保護者の病中時などの支援については、入院時等の児童の一時預かりなどの事業を行っており、子育てしやすい環境づくりを進める中でPRしていきたいと考えています。
12	胡桃島キャンプ場からの登山コースについて	<ul style="list-style-type: none"> ・胡桃島キャンプ場からの登山コースに関して以下を提案する。 指導標の早急な整備 コース周知のための調査踏査 登山道の整備 トイレの設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・登山コースについて、登山コースの具体的な記載はしていませんが、「温泉・山岳等資源の活用」の中に、山岳資源を活用することについて記載しており、今後検討することとしています。
13	胡桃島コテージについて	<ul style="list-style-type: none"> ・胡桃島コテージに関して以下を提案する。 アクセス地図の改善(ホームページ) 設備・備品リストの設置 現地の商店等の案内 ごみ処理の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場について、胡桃島コテージの具体的な記載はしていませんが、観光施設の整備・充実については、今後も取り組んでいきたいと考えています。ご提案の事項については、検討の上、対応することとします。